

経営発達支援事業評価シート【令和5年度】

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%） E：未実施
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）

1. 経営発達支援事業の内容

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標数値（過年度は実績値）					本年度実績		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無	委員の評価・意見						
		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	実績値	自己評価			評価	森	樋渡	笹井	上田	原口	見直し等の意見
1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】																	
地域経済分析システム「RESAS」による情報の収集・活用	無	1回	1回	1回	1回	1回	1回	A	実施内容（補助金活用含む） もたらされた効果や課題 今後の対応等（補助金活用含む） 北海道内及び十勝管内の地域経済に与える影響を把握した地域再活性化施策のデータ情報（小売業・飲食業・宿泊業・サービス業）を当商工会ホームページに公表。 当商工会ホームページに提示を行うことで小規模事業者が自社の現状や外部環境を把握する資料として提供することができた。 今後も小規模事業者に対して事業計画策定支援の資料として地域情報を提供する。	無	A	A	A	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
各種機関が実施する中小企業景況動向調査の活用	無	2回	3回	4回	4回	4回	4回	A	実施内容（補助金活用含む） もたらされた効果や課題 今後の対応等（補助金活用含む） 帯広信用金庫「十勝地域内企業景気動向調査」、北海道「企業経営者意識調査」、北海道商工会連合会「中小企業景況調査」を当商工会ホームページに4回公表。 道内商工会地域における中小企業景況調査を公表することにより、小規模事業者に対して事業計画策定や経営力向上の基礎資料として有効に活用できるよう提供することができた。 今後も小規模事業者を支援するために事業計画策定や経営力向上の基礎資料として地域の情報を提供する。	無	A	A	A	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
2. 需要動向調査に関すること【指針③】																	
展示商談会・即売会の出展による需要動向調査	無	2件	3件	3件	3件	3件	2件	B	実施内容（補助金活用含む） もたらされた効果や課題 今後の対応等（補助金活用含む） 商談会においてバイヤー等からの意見や要望、消費者ニーズ、商品・サービスを情報収集、調査・分析し、新たな商品開発や商品改良に繋げるため事業者へフィードバックした。 情報収集した結果を出展事業者や他の出展事業者に対して情報提供し、今後の販路開拓に向けて事業計画策定の支援に活用した。 今後も小規模事業者の販路開拓に向けてバイヤー等からの意見や要望を情報収集し、分析した結果を出展事業者や他の出展事業者へフィードバックする。	無	B	B	B	A	B	B	目標達成度合いの評価基準は実施回数とせざるを得ないが、その実効性がより重要であるとする。回数もさることながら、個々の事業者が必要とする助言を実施されたい。
3. 経営状況の分析に関すること【指針①】																	
経営分析の実施	無	49件	48件	40件	40件	40件	39件	A	実施内容（補助金活用含む） もたらされた効果や課題 今後の対応等（補助金活用含む） 巡回訪問や窓口相談での相談を通して得られた経営情報を財務・SWOT分析し、当商工会の記帳機械化を利用している事業者には経営計数分析表や簡易財務診断表を活用して分析した。 分析した結果を巡回訪問・窓口相談時に当該事業者へフィードバックし、経営状況に対する課題解決に向けた支援を実施できた。 引き続き、巡回訪問や窓口相談での相談を通じて経営状況のヒアリングを行い、財務・SWOT分析や記帳機械化のデータ情報を活用して分析を実施する。	無	A	A	A	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
4. 事業計画策定支援に関すること【指針②】																	
事業計画策定セミナー開催による事業計画策定支援	無	6件	29件	20件	20件	20件	9件	C	実施内容（補助金活用含む） もたらされた効果や課題 今後の対応等（補助金活用含む） 補助金等申請1件とや販路開拓に取り組む小規模事業者8件に対して、巡回訪問や窓口相談の際に事業計画策定支援を実施した。 分析から把握した経営上の課題・問題を解決するための道筋となる事業計画策定支援に取り組み、小規模事業者の持続的発展に繋がった。 今後も全職員が巡回訪問・窓口相談の際に事業計画策定の意義や重要性等を説明し、目標達成に向けて個別に事業計画策定の支援に取り組む。	無	C	C	B	C	C	C	事業承継への取り組みを要する事業者は数多く潜在しており、商工会にとって重要性の高い支援サービスといえる。その取り組みの動機づけとしてのセミナーの有効性を対象事業者に効果的に訴求したい。
事業承継・創業に係る事業計画策定支援	無	1件	2件	3件	3件	3件	2件	B	実施内容（補助金活用含む） もたらされた効果や課題 今後の対応等（補助金活用含む） 町内で創業を目指す予定者1名及び事業承継される事業者1件に対して、事業計画策定の説明を実施した。 事業承継・創業計画書を作成するうえで金融機関と連携を図ることによって、事業承継事業者及び創業者に対して融資の支援に繋がった。 当商工会ホームページにて事業承継や創業に向けた情報を発信し、各支援機関と連携して目標達成に向け今後も事業承継や創業に係る支援を実施し、事業計画策定に繋げる。	無	B	B	B	A	B	B	事業承継計画の策定により「課題抽出」「タイムスケジュール設定」が具体化するメリットが期待できる。必要とする事業者に向けて粘り強く提案することが肝要であるとする。

経営発達支援事業評価シート【令和5年度】

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%） E：未実施
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）

1. 経営発達支援事業の内容

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標数値（過年度は実績値）					本年度実績		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無	委員の評価・意見					
		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	実績値	自己評価			評価	森	樋渡	笹井	上田	原口
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】																
フォローアップ事業者数	無	35件	31件	20件	20件	20件	9件	C	実施内容（補助金活用含む） 事業計画策定した事業者に対して、職員が巡回訪問や窓口相談で事業計画の進捗状況など、定期的にフォローアップの支援に努めた。 もたらされた効果や課題 定期的フォローアップを実施したことにより事業計画の進捗状況の確認、現状把握、課題や問題点を洗い出しすることができ、事業計画書の改善に繋がった。 今後の対応等 今後も事業計画策定した事業者に対して、職員が巡回訪問や窓口相談で定期的にフォローアップを実施することにより事業計画書の改善や目標の事業者数に繋げる。	無	C	C	B	C	C	事業計画の実効性を高めるにはPDCAサイクルによるマネジメントが効果的。「絵に描いた餅」で終わらせないためには、フォローアップが重要であることを事業者に伝えたい。
承継・創業のフォローアップ事業者数	無	1件	3件	3件	3件	3件	5件	A	実施内容（補助金活用含む） 金融機関と連携を図りながら、事業承継3件と創業者2件の創業に向けたフォローアップを実施した。 もたらされた効果や課題 事業承継や創業を目指す創業者へのヒアリングを実施し、事業計画策定に繋げるためのフォローアップを支援した。 今後の対応等 今後も支援機関との連携を図り、必要に応じて専門家を活用して事業承継や創業者への創業に向けたフォローアップを積極的に取り組む。	無	A	A	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
フォローアップ頻度（延べ回数）	無	82回	70回	92回	92回	92回	36回	C	実施内容（補助金活用含む） 事業計画を策定した全ての事業者を対象として、定期的に職員が1事業者に対し3回フォローアップを巡回訪問や窓口相談にて実施した。 もたらされた効果や課題 フォローアップした事業者に対して進捗状況の把握に努め、問題などが生じた場合には今後の対応策を検討した。 今後の対応等 事業計画策定事業者を増やし、定期的に巡回訪問等を通じてフォローアップの支援を継続し、必要に応じてフォローアップ頻度を増やすなど臨機応変に対応しながら目標数に繋げる。	無	C	C	C	C	C	実施回数の未達成要因を分析することが必要と思われる。事業計画策定により事業者が得られるメリットを提示することで取組事業者の確保につなげたい。
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】																
展示商談会及び即売会への出展支援（B to B）	有	2件	5件	6件	6件	6件	2件	C	実施内容（補助金活用含む） 一次が不採択のため商談会1カ所になり、道外へ販路拡大に取り組む事業者に対して昨年度の実績から11月開催のFOOD STYLE Kyushu 2023展示商談会（B to B）に2件出展支援した。 もたらされた効果や課題 道外の九州に幕別町の特産品やブランド価値をアピールすることができ、幕別町並びに出展商品の認知度の向上が図られ出展事業者の売上向上に繋がった。 今後の対応等 需要を見据えた事業計画策定した事業者より新たな出展事業者の掘り起こしを図りながら、幕別町及び出展商品の認知度向上や出展事業者の売上向上に繋げるため継続に支援する。	有	C	C	A	C	C	行動制限解除により事業者の販路拡大手法が確保しやすくなった。積極的な事業者に向けて販売機会の提供を行い、販路獲得の後押しを実現したい。また、補助金の範囲内で可能な限り支援する。
共同チラシを活用した商品・サービスのPR支援（B to C）	無	23件	23件	20件	20件	20件	7件	C	実施内容（補助金活用含む） 一次が不採択により共同チラシは実施できなかったが、商工会イベント事業のPR用チラシやインスタを活用して、イチオシ商品やサービスをより効果的に見せることを支援した。 もたらされた効果や課題 販路開拓・新規顧客の開拓を図る小規模事業者に対して個店のPRと集客による相乗効果を創出することができ、一時的に売上や集客の増加に繋がった。 今後の対応等 今後も継続して小規模事業者の販路開拓・新規顧客の開拓によって売上増加に繋がるよう、個店の商品・サービスのPR情報を発信して売上増加に繋げる。	無	C	C	C	C	C	地域の強みを活かした商品にはリピーター確保による商機拡大が可能。事業者の強みを的確に把握することで、有効な支援につなげたい。
ホームページ等WEBを活用した商品・サービスのPR支援（B to C）	無	2件	2件	2件	2件	2件	2件	A	実施内容（補助金活用含む） 新たな販路開拓を目指す小規模事業者に対して全国商工会連合会のグーベを活用して自社ホームページ公開に向けた支援1件と北海道商工会連合会EC化チャレンジ事業に1件支援した。 もたらされた効果や課題 地域外に新たな販路開拓を目指す小規模事業者に対して、自社ホームページやECサイトにより事業者の認知度の向上が図られ、販路開拓に繋がった。 今後の対応等 地域外に新たな販路開拓を目指すために事業者の認知度向上やECサイトへの集客といった取り組みが必要になるため継続して支援する。	無	A	A	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。